

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅲ		必修	2	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
鈴木 真吾 他	B309	shsuzuki	水曜日 12:10～12:50		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;「福祉心理学専門演習Ⅱ」での学びを踏まえ、福祉学を中心とした知識をさらに深め総括するとともに、社会人基礎力の概念と発信力や傾聴力など、社会とのかかわりに必要な対人援助技術に関する基本的な知識について修得することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;社会人基礎力を学ぶ必要性やメリットに関する講義する。ワークシートの作成やグループワーク、プレゼンテーション繰り返し実施し、具体的な社会人基礎力について修得し理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	社会人として必要なコミュニケーション力は生涯にわたり欠くことのできない力であることを意識するとともに、授業への積極的な参加が望ましい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	福祉学の基本的な専門的知識について理解し、説明することができる。			HC(5)	
②	社会で必要な対人援助技術の知識を理解し、説明することができる。			HC(5)	
③	社会人基礎力を身につけ多様な関係性について理解し、実際に活かすことができる。			HC(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	「福祉心理学専門演習Ⅱ」の総括及び社会人基礎力の重要性や意義について学ぶ。	演習	授業内容について復習する。		2
2	社会人基礎力を学ぶ(1) ～対人援助技術の基礎を活かす①。	演習	社会人基礎力に関するワークシートの作成を行う。		4
3	社会人基礎力を学ぶ(1) ～対人援助技術の基礎を活かす②。	演習	教員による添削後、ワークシートを完成させる。		4
4	社会人基礎力を学ぶ(1) ～対人援助技術の基礎を活かす③。	演習・ グループワーク	社会人基礎力についてワークを実施し振り返りを行う。		3
5	社会人基礎力を学ぶ(1) ～対人援助技術の基礎を活かす④。	演習	社会人基礎力に関するワークシートの作成を行う。		4
6	社会人基礎力を学ぶ(1) ～対人援助技術の基礎を活かす⑤。	演習	教員による添削後、ワークシートを完成させる。		4
7	社会人基礎力を学ぶ(2) ～対人援助技術の基礎について学んだことを発表する。	プレゼンテーション	社会人基礎力についてワークを実施し振り返りを行う。		3
8	社会人基礎力を学ぶ(3) ～対人援助技術の基礎を活かす①。	演習	社会人基礎力に関するワークシートの作成を行う。		4
9	社会人基礎力を学ぶ(3) ～対人援助技術の基礎を活かす②。	演習	教員による添削後、ワークシートを完成させる。		4
10	社会人基礎力を学ぶ(3) ～対人援助技術の基礎を活かす③。	演習・ グループワーク	社会人基礎力についてワークを実施し振り返りを行う。		3
11	社会人基礎力を学ぶ(3) ～対人援助技術の基礎を活かす④。	演習	社会人基礎力に関するワークシートの作成を行う。		4
12	社会人基礎力を学ぶ(3) ～対人援助技術の基礎を活かす⑤。	演習	教員による添削後、ワークシートを完成させる。		4
13	社会人基礎力を学ぶ(4) ～対人援助技術の基礎について学んだことを発表する。	プレゼンテーション	社会人基礎力についてワークを実施し振り返りを行う。		3
14	社会人基礎力を学ぶ(5) ～対人援助技術の基礎を活かす①。	演習	社会人基礎力に関するワークシートを作成し、添削後完成させる。		4
15	総括を行う。	演習	これまでの内容を各自で振り返り整理する。		10
試	達成度評価・評価のポイントを参照				

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	40	0	60	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	5	0	5	10
	思考・推論・創造する力	0	0	5	0	5	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	10	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	20	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	与えられたテーマに関して求められている内容を発表できているか、相手にわかりやすく伝えているか（発信力）、相手の話を丁寧に聞いているか（傾聴力）などに関して評価する。				発表後に講評及び解説や補足の講義を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	ワークシートの作成やワークへ積極的に取り組んでいるか、授業に意欲的参加しているかなどについて、総合的に評価する。				ワークシートについてはコメントを付し返却する。ワークに関しては個々に講評及び解説や補足の講義を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	渡邊 隆文						
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生は必ずいずれかの教員のクラスに所属すること。前期は田村クラス、鈴木(渡邊)クラスを設置する。後期は、鈴木(渡邊)クラスは自動的に渡邊クラスに戻ることとなる。</li> <li>科目担当教員は複数クラスを開講するため、教員が示したクラスを履修登録すること。</li> <li>教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めないこともある。</li> </ul>						